

# 宇都宮市自転車のまち推進計画【概要版】～自転車で“走れば愉快だ”宇都宮～

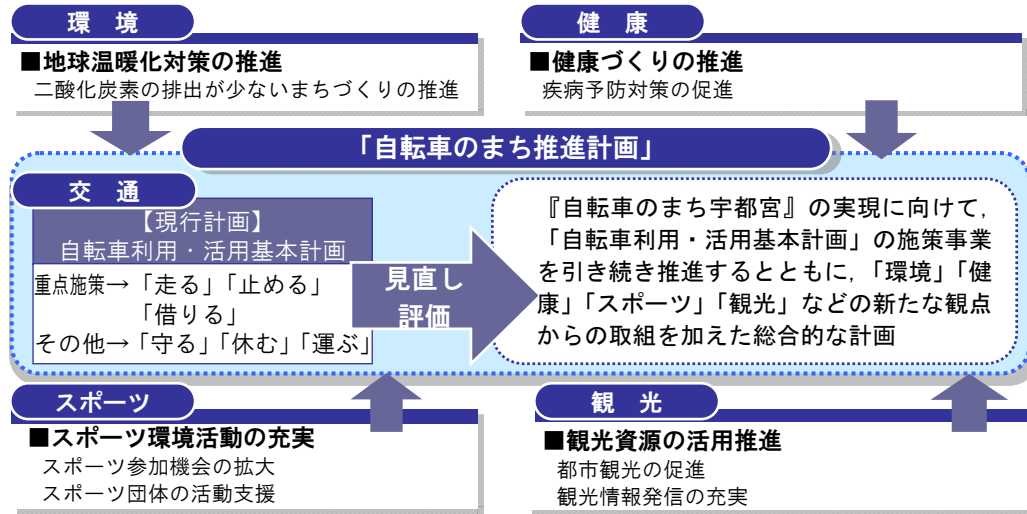
## 第1章 推進計画策定の趣旨

### 1 推進計画の位置付け

「第5次宇都宮市総合計画」の分野別計画に掲げる基本施策「円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する」を実現するための計画とします。

また、総合計画や「宇都宮都市交通戦略」などにおける都市及び都市交通の将来像を実現するため、目標や課題、施策などの相互の関係を明確にした、戦略性の高い、実効性のある計画とします。

#### ■計画策定イメージ



### 2 計画期間

平成23年度から平成27年度までの5年間とし、10年後（平成32年度）を見据えた5年間の実行計画とします。

### 1.3 自転車スポーツが盛んなまち

#### ジャパンカップ・サイクルロードレース、宇都宮ブリッツェン

平成4年以降、毎年、森林公園周回コースで「ジャパンカップ・サイクルロードレース」が開催され、全国から自転車ファンが集まるまちです。

また、平成20年10月に誕生した日本初の“地域密着型”プロロードレースチーム「宇都宮ブリッツェン」の活動拠点となっており、深く自転車にかかわっているまちです。

#### ■ジャパンカップの状況



### 2 自転車のメリット（自転車利用の魅力を表す「5つのK」）

自転車を利用することは、「環境負荷 (kankyo)」「健康増進 (Kenko)」「快適性 (kaiteki)」「経済性 (keizai)」「交通安全 (kotsuanzen)」などに様々なメリットが考えられます。そのメリットを「利用者」「まち」「企業」に分類して取りまとめました。

	環境負荷	健康増進	快適性	経済性	交通安全
利用者のメリット	健康に良い	○			
	お金がかからない			○	
	目的地の制約がない		○		
	時間の制約がない		○	○	
	楽しい		○		
	手軽につかえる		○		
	通勤ラッシュがない		○	○	
	安全に使える				○
まちのメリット	環境にやさしい	○			
	交通渋滞の緩和	○			○
	まちの活力の創出				○
	まちのイメージアップ				○
企業のメリット	企業イメージの向上		○	○	
	経費の削減			○	

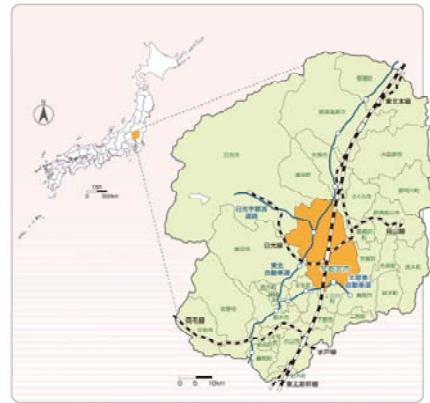
## 第2章 自転車を取巻く背景と自転車利用のメリット

### 1 自転車を取巻く背景

#### 1.1 自転車利用に適したまち

##### (1) 宇都宮市の概況

北関東唯一の50万都市である本市は、市街地を中心に平坦地が広がり、降水量は全国と比較すると少なく、また、冬季の日照時間が長いなど、自転車の利用に適した環境を持ったまちです。



■宇都宮市の位置

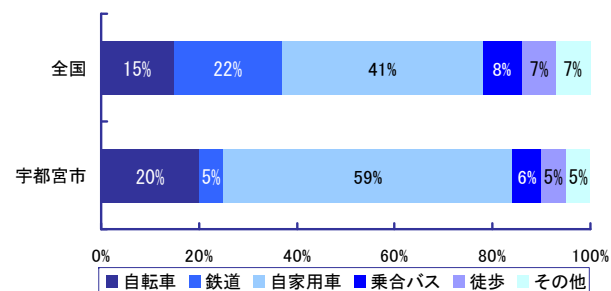
##### (2) 宇都宮市の道路ネットワーク

都心部を囲む3つの環状道路と、都心部から郊外に伸びる12の放射道路の道路ネットワークが形成されているなど、自転車利用にも適した道路環境を整備しています。

#### 1.2 自転車利用が盛んなまち

##### (1) 自転車の利用状況

全国平均と比較して、自転車を利用する人の割合が高いまちとなっています。



■宇都宮市の交通分担率 出典：平成12年国勢調査

##### (2) 高校生の自転車通学者数

市内の高校に通学する自転車通学者数の割合は、約8割と非常に高い水準となっています。

## 第3章 現行計画の取組状況と課題

### 重点施策の取組状況・課題と対応策

	施策の柱・取組状況	課題	対応策
「走る」	自転車ネットワークの形成 →都心部44路線、郊外部6路線の自転車ネットワークを形成	・自転車交通量が多い路線でも自転車走行空間の確保が困難な区間が存在 →対応策を検討し、自転車走行空間のネットワーク化を図っていくことが必要	◆自転車ネットワークの拡充 ◆自転車走行空間整備の推進
	自転車走行空間の確保 →優先整備路線の整備 (13路線中12路線を整備)		
「止める」	駐輪場の整備 →JR宇都宮駅西口歩道上駐輪場の整備 (ラック式駐輪場180台を整備) →既存駐輪場の利用促進 (無料時間を4時間に拡大) →郊外型駐輪スポットの整備 (12箇所に駐輪スポットを整備) ※県、バス事業者による整備も含む	<JR宇都宮駅周辺> ・市営駐輪場は収容台数一杯の需要があり、定期利用の順番待ちをしている状況 →早急な駐輪場の確保策の検討が必要 <中心市街地> ・一時利用は収容台数を上回る需要があり、放置自転車の割合が高い。 →短時間駐輪スポットなど、中心市街地の自転車利用者のニーズに応じた整備の検討が必要	◆JR宇都宮駅周辺の駐輪場の確保 ◆中心市街地への利便性の高い駐輪スペースの確保
	レンタサイクルの導入 →市内4箇所の市営駐輪場へのレンタサイクル導入(110台)		
「借りる」		・レンタサイクルの需要が高まっており、宇都宮駅周辺は恒常的に台数が不足 →利用者のニーズに応じたレンタサイクルの拡充の検討が必要	◆レンタサイクルの貸出拠点の増設等

## 第4章 推進計画の目標と将来像

## 第5章 施策事業の展開

「4つの施策の柱」とそれぞれの取組方針を設定し、目標を達成するための様々な施策事業を展開していきます。

目標	4つの柱	施策事業	具体的な取組
<b>目標Ⅰ</b> だれもが“安全”に自転車が使える ～安全性の向上～ ・自転車の走行にとって安全・安心な道づくりの推進 ・自転車のルール・マナーを守ることができる人づくり や自転車の安全を守る環境づくりの推進	<b>4つの柱</b>	(1) 自転車走行空間の確保	◎新たな自転車走行空間の整備【拡】 自転車サインの整備【拡】
		(2) 安全啓発活動の実施	◎交通安全教室等の継続・拡充【拡】 広報啓発活動の継続・拡充【拡】
		(3) 安全を守る環境づくりの推進	安全安心な自転車用具の普及促進【拡】 交通安全施設の設置【継】 放置自転車対策の継続・拡充【拡】
<b>目標Ⅱ</b> だれもが“快適”に自転車が使える ～快適性の向上～ ・自転車利用者が休憩できる空間の創出や公共交通（バス、鉄道、タクシー）との連携など、自転車利用がにつながる環境づくりの推進 ・自転車の特性を活かす利便性の高い駐輪場の整備	<b>4つの柱</b>	(1) 自転車利用のネットワーク化	◎休憩スポットの創出（自転車の駅）【新】 公共交通との連携強化【拡】
		(2) 新たな駐輪場の整備	◎鉄道駅周辺への駐輪場整備【拡】 バス停付近への駐輪場整備【拡】 短時間駐輪スポットの整備【新】
<b>目標Ⅲ</b> だれもが“楽しく”自転車が使える ～観光やスポーツの推進～ ・自転車に乗りたくなるような環境づくりの推進 ・観光との連携やサイクリングスポーツの振興による新たな自転車の魅力づくりの推進	<b>4つの柱</b>	(1) レンタサイクルの拡充	◎観光レンタサイクルの導入【新】 コミュニティサイクルの拡充【拡】
		(2) スポーツ・観光等との連携	◎モビリティセンターの整備【新】 観光・サイクリングルートの整備・創出【新】 ◎自転車マップの作成【新】 サイクリングロードの整備【拡】 商店街等との連携策の実施【新】
		(3) プロスポーツとの連携	ジャパンカップのPRの実施【継】 自転車の普及促進イベントの実施【新】
<b>目標Ⅳ</b> だれもが“健康とエコ”に自転車が使える ～健康の増進と環境保全～ ・市民の健康増進や地球にやさしいライフスタイルの推進	<b>4つの柱</b>	(1) 自転車通勤の推進	モビリティマネジメントの実施【拡】 自転車通勤に関する職場環境の改善【新】
		(2) 新たなライフスタイルの推進	◎自転車モニター事業の実施【新】
<b>「自転車のまち宇都宮」の推進</b>			「自転車のまち宇都宮」のPR【新】

計画期間中に（一部）実施する事業   
  計画期間中に検討し、実施を目指す事業   
 ◎ 重点事業   
 【新】 新規事業   
 【拡】 拡充事業   
 【継】 継続事業

## 第6章 重点事業の概要

本計画の4つの柱に基づく具体的な取組の中から、以下の8つの施策を「重点事業」として位置付け、重点的に取り組むとともに、「自転車のまち宇都宮」を積極的にPRしていきます。

**目標Ⅰ** だれもが“安全”に自転車が使える

- ① 新たな自転車走行空間の整備【拡充】  
→新たなネットワーク路線における優先整備路線の整備推進
- ② 交通安全教室等の継続・拡充【拡充】  
→交通安全教室や運転免許事業等の拡充の検討

**目標Ⅲ** だれもが“楽しく”自転車が使える

- ⑤ 観光レンタサイクルの導入【新規】  
→観光施設等と連携した貸出場所の増設等に向けた観光レンタサイクルの本格実施
- ⑥ モビリティセンターの整備【新規】  
→自転車利用・活用を促進する戦略的な施設「モビリティセンター」の本格的な整備
- ⑦ 自転車マップの作成【新規】  
→自転車マップの作成による自転車を活用した観光ルート等の提案、情報発信

**目標Ⅱ** だれもが“快適”に自転車が使える

- ③ 休憩スポットの創出（自転車の駅）【新規】  
→市の公共施設などへの自転車修理用具、スポーツバイク用ラック等の設置
- ④ 鉄道駅周辺への駐輪場整備【拡充】  
→JR宇都宮駅周辺への駐輪場の拡充、江曾島駅等への駐輪場整備

**目標Ⅳ** だれもが“健康とエコ”に自転車が使える

- ⑧ 自転車モニター事業【新規】  
→自転車利用の健康面などへの効果を検証するモニター事業の実施と自転車通勤者の体験談のPR

「自転車のまち宇都宮」のPR【新規】



## 第7章 「自転車のまち宇都宮」の実現に向けて

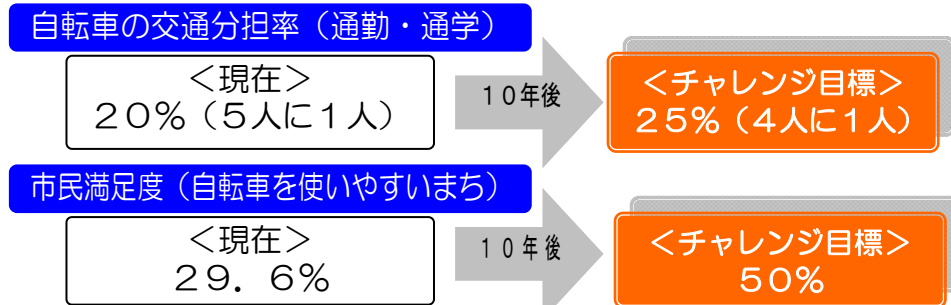
### 1 評価指標

重点事業の進捗状況を評価する「活動指標」と、施策の効果を評価する「成果指標」の2つの指標により、事業の進捗状況を評価し、経年的に施策の効果を把握します。

4つの柱	活動指標（重点事業） 5年後（平成27年度）	成果指標 （経年的に成果を把握）
<b>目標Ⅰ</b> だれもが“安全”に自転車が使える	<input type="checkbox"/> 自転車走行空間の整備延長 《目標値》 9.6km⇒25.4km <input type="checkbox"/> 交通安全教室等 →宇都宮市交通安全計画で設定	<b>■交通事故件数</b> 市内全体や整備路線の交通事故の変化を把握
<b>目標Ⅱ</b> だれもが“快適”に自転車が使える	<input type="checkbox"/> 自転車の駅（休憩スポット）の整備数 《目標値》 36箇所新設 <input type="checkbox"/> 鉄道駅周辺の駐輪場収容台数 《目標値》 7,912台⇒8,512台	<b>■自転車利用者数</b> 市内全体や整備路線の自転車利用者数を把握
<b>目標Ⅲ</b> だれもが“楽しく”自転車が使える	<input type="checkbox"/> レンタサイクル拠点・利用者数 《目標値》 4箇所⇒14箇所 31,000人⇒41,000人 <input type="checkbox"/> モビリティセンター利用者数 《目標値》 モデル事業から設定 <input type="checkbox"/> 自転車マップ配布枚数（実績値）	<b>■CO<sub>2</sub>の削減量</b> 上記の自転車利用者数の状況から、自動車からの転換による削減量を推計
<b>目標Ⅳ</b> だれもが“健康とエコ”に自転車が使える	<input type="checkbox"/> エコ通勤実施企業数 《目標値》 4企業 ⇒ 10企業 <input type="checkbox"/> 自転車モニター事業参加者数・実施効果（実績値）	<b>■市民の満足度</b> 自転車施策などに関する満足度を把握

### 「チャレンジ目標」

重点事業の活動指標の目標達成に向けて取り組みながら、概ね10年後には、左記の目標が達成され、市民の皆さんが、「自転車のまち」として誇れる宇都宮市となるよう積極的にチャレンジしていきます。



### 2 推進体制・進行管理

市民、事業者、行政が連携して計画を推進することができるよう、市民代表や関係機関などによる「（仮称）宇都宮市自転車のまち推進協議会」を設置します。

活用指標、成果指標により施策の進捗状況を評価・検証するとともに、必要に応じて計画案の見直しを行い、確実な計画の推進を図ります。

#### ■推進組織のイメージ

